
国際

2017年3月5日 22時49分

ガザでたこ揚げ、震災被災者と絆 パレスチナの子ども千人参加

【ハンユニス共同】パレスチナ自治区ガザ南部ハンユニスで5日、東日本大震災の被災者との絆を示すため、たこ揚げ大会が行われた。日本の小中学生に当たる子ども約千人が参加。青く晴れ渡った大空に色とりどりのたこが舞い上がった。

このイベントは大震災翌年の12年から毎年開かれており、今年で6回目。今回は「GAZA LOVES JAPAN（ガザは日本を愛しています）」の人文字にも挑戦した。

参加者代表の女性シャヘッド・クルラブさん（12）は開会式で「テレビで見た大震災の悲惨さを忘れることはない。家族や住む家を失った苦しみは私たちも日本人の人も同じだ」とあいさつした。



5日、パレスチナ自治区ガザ南部ハンユニスで、たこ揚げする子どもたち（共同）

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.